

甲府市では、総合的かつ計画的に行政運営を進めるための指針として、昭和45(1970)年に「甲府市総合計画」を策定して以来、六次にわたり総合計画を策定してきました。

平成28(2016)年度を初年度とする「第六次甲府市総合計画」では、令和7(2025)年度を目標年度として、「人・まち・自然が共生する未来創造都市 甲府」を目指すべき都市像とし、その実現のため、甲府の財産ともいべき「人・まち・自然」それぞれの素晴らしさが、より一層活かされ高められながら共生し、明るい未来を創造していくまちづくりに向けて諸施策を推進してきました。

この間、社会環境は大きく変化し、急速な人口減少・少子高齢化が進行する中、都市の活力維持や安定的な行政サービスの提供に及ぼす影響が懸念されており、また、新興感染症や激甚・頻発化する災害への備え、地球環境の保護など、直面する諸課題に的確に対応していく必要があります。

一方で、デジタル化の進展により、柔軟で多様な働き方が可能となるとともに、リニア中央新幹線の開通により、三大都市圏間の時間距離が短縮され、世界に類を見ない魅力的な経済集積圏域の形成など、新たなビジネススタイル・ライフスタイルの実現が期待されています。

こうした状況を踏まえ、これまでの施策を継承しつつ、新たな課題や社会環境の変化に的確に対応し、より発展した計画とすることを基本的な考え方として、目指すべき将来の姿とそれを実現するための目標を明らかにし、市民や事業者、関係団体の皆様と共有するとともに、その実現に向けて計画的に施策を推進するため、市政運営の指針として、「第七次甲府市総合計画」を策定するものです。

なお、人口減少や行政改革、SDGsといった施策横断的な重要課題に対しては、別途計画を策定して取り組んできましたが、今般、総合計画に包含し、より効率的・効果的に施策を展開していくものとします。

■甲府市総合計画の変遷

第一次	甲府市総合計画（昭和45年度～昭和52年度）
	都市像 魅力ある文化都市
第二次	甲府市新総合計画（昭和53年度～昭和62年度）
	都市像 うるおいの心でむすぶ私たちのまち・甲府
第三次	第三次甲府市総合計画（昭和63年度～平成8年度）
	都市像 明日をひらく健康都市・甲府
第四次	新甲府市総合計画（平成9年度～平成18年度）
	都市像 人と自然に優しさあふれるまち 甲府
第五次	第五次甲府市総合計画（平成18年度～平成27年度）
	都市像 人がつどい 心がかよう 笑顔あふれるまち・甲府
第六次	第六次甲府市総合計画（平成28年度～令和7年度）
	都市像 人・まち・自然が共生する未来創造都市 甲府